

## 創刊のごあいさつ

長崎学院は1945（昭和20）年12月1日、当時長崎馬町教会の牧師であった青山武雄先生を中心として再建された長崎キリスト教青年会（長崎YMCA）を母体として創設され、2021（令和3）年12月には創立76年を迎えました。この間、長崎外国語学校（1947年～1950年）、長崎外国語短期大学（1950年～2011年）、そして4年制の長崎外国語大学（2001年～）と、社会の要望に応じて絶えず教育機関としての機能拡充を図るとともに、一貫して語学教育を通じたキリスト教全人教育に取り組んでまいりました。



2016（平成28）年4月、本学に創設された新長崎学研究センターでは、青山先生が掲げた建学の精神ともいえる「本学は、教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、キリスト教精神に基づき、外国語と国際文化に関する知識を教授研究し、国際的な視野と円満な人格の涵養を図り、もって地域並びに人類社会の福祉と発展に寄与しうる人材を育成することを目的とする」（学則第1条）という考えに基づき、外国語大学ならではの特性を生かした「新長崎学」の研究推進を主なミッションとして、各種事業に取り組んでいます。

このたび発刊の運びとなった『新長崎学研究センター紀要』創刊号では、特集として姫野学長による解題「「年譜 青山武雄」の掲載に寄せて」、青山先生のご子息にあたる青山愷先生（長崎学院元副理事長）から「年譜 青山武雄」、「長崎外国語短期大学の誕生」の寄稿を賜りました。いずれも本学院のこれまでのあゆみを知る上で貴重な研究成果です。

ほかにも、本学教職員及び客員研究員などによる研究成果として学術論文4編、研究ノート2編、そして新長崎学研究センターが2020（令和2）年11月に実施した研究集会でご講演いただいた中島耕二先生（新長崎学研究センター客員研究員／元明治学院大学客員教授）による講演録「フルベッキ博士の生涯と日本の近代化」を掲載しております。

今後とも『新長崎学研究センター紀要』の刊行を通じて、長崎外国語大学ならではの特色ある「新長崎学」の研究成果発信に努めてまいり所存です。

2022（令和4）年3月31日

学校法人 長崎学院  
理事長 粟屋 曠